

# 2026年度シラバス

高等学校3年



駒沢学園女子高等学校

## 仏教（2026年度）

単位数	1単位
担当	中村 友恵
教科書	『駒沢学園の仏教』 駒沢学園刊
対象生徒	高校3年生

### 1. 授業の目標

- ・駒沢学園の「仏教」の授業の集大成として、今までの知識を礎に、世界に目を向け、様々な宗教について学ぶ。「宗教」に関連する新聞記事を題材に、宗教がらみの紛争問題、争いなどについて触れ、意見を交換・共有し、解決の糸口を見出す。
- ・「生を明らめ、死を明らむるは、仏家一大事の因縁なり」（『修証義』総序）とある。死についてどのように捉えるかは、すなわち「今をどう生きるか」に直結する。このため、生死について学び、理解を深める。また、単なる知識ではなく、自分の問題として捉えていけるよう、生徒に身近なニュースや新聞記事を提示し、具体的な事例を通して、意見を交換、共有し、よりよい生き方を模索する。
- ・仏教と日本文化の知識と理解を深める。
- ・他宗教を学ぶことで、多様性を理解し、尊重し、思いやりの心（慈悲心）が芽生えることを期待する。

### 2. 教科書・教材

『駒沢学園の仏教』

### 3. 学習上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・「世界の様々な宗教」を学び、世界の多様な宗教観や信仰について学ぶと共に、それに基づく価値観や生活習慣について考える。
- ・マスコミやニュースなどにより、植え付けられたマイナスな宗教のイメージを一度払しょくし、その宗教が本來說いている「平等」や「平和」の精神に目を向ける。
- ・自分とは違う信仰をしている人をステレオタイプに批判をしたり、恐怖感を抱いたり、あるいは偏見を持ったりするのではなく、まず「相手を知ること」、そして「分かり合う」ことはできなくとも、違いを「受け入れ、尊重する」姿勢を忘れないようにする。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・授業時に行う課題提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は課題を行う。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点（80%）、提出物（20%）により評価をする。

### 6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
第一学期	期末	世界の様々な宗教 宗教の概観、宗教とは何か、日本人の宗教観 ・仏教の死生観 ・仏教の伝播 ・チベット仏教 ・世界の様々な宗教について学び、仏教との比較、日常生活の中の宗教行事について知る。 坐禅実習
		世界の様々な宗教 ・旧約聖書(天地創造) ・ユダヤ教(律法主義とは) ・ユダヤ人の虐殺など ・宗教および信条に基づく暴力行為の犠牲者を記念する国際デー(8月22日) 世界の様々な宗教について学び、それぞれの国の文化・国民性など相互理解を深める。 特に宗教がらみの紛争問題、争いなど解決の糸口を考える。 さらに、宗教および信条に基づく暴力行為の犠牲者を記念する国際デーを紹介し、インドのマハトマ・ガンジーや、南アフリカの人種隔離政策を撤廃したネルソン・マンデラらが残した人権にまつわる言葉を調べることにより、人類の歴史が血と涙の結晶により発展してきたことを知る。
第二学期	期末	坐禅実習
		生命倫理 出生前診断(ダウン症について)、デザイナーベビー、赤ちゃんポスト、ホスピス・緩和ケア・延命治療などの事例や現状を学び、いのちとは何か、尊厳とは何か、考えを深めさせる。 一神教について ・キリスト教(アガペー、隣人とは、復活とは、三位一体、最後の晩餐など) ・キリスト教の死生観 ・イスラーム(なぜ偶像崇拝を禁じるのか、食事や六信五行など) ・エルサレムについて
第三学期	期末	調べ学習 1学期、2学期で学んできた宗教の知識をもとに、 自分自身で「宗教」に関するテーマを決め、それについて調べ、まとめてレポートにする。

選択体育(2026年度)

単位数	2単位
担当	二見 樋口 芦田 山崎
教科書	
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標  
スポーツの必要性を十分に理解させ、生涯にわたって各自の健康を考えて、生活に欠かすことのできない重要な一部として位置づけさせる
2. 副教材・参考書  
アクティブスポーツ (大修館書店)
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等  
けがや障害を起こさないように準備運動と整理運動をしっかりと行う。  
事故防止に心がけてお互いの安全を確認する習慣をつけさせる
4. 宿題・課題・再試について  
実技テストにおいて基準に達していない者は再試を行うこともある
5. 評価の基準について  
・選択体育の実技点は40%とする。
6. その他  
特になし

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	授業内試験	以下の3種目に分かれて授業を行う。 ・バレーボール 安全を確保し、サーブ、レシーブなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。 ・バスケットボール 安全を確保し、ドリブル、シュートなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。 ・テニス 安全を確保し、サーブ、ボレーなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。
二学期	授業内試験	以下の3種目に分かれて授業を行う。 ・バレーボール 安全を確保し、サーブ、レシーブなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。 ・バスケットボール 安全を確保し、ドリブル、シュートなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。 ・テニス 安全を確保し、サーブ、ボレーなどゲームに活かせる技能を習得し、ゲームを行う。
三学期	授業内試験	縄跳び 体力の維持・向上を図るため、数種類の跳び方で縄跳びを行う。

体育(2026年度)

単位数	1単位
担当	二見・小宮
教科書	
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標

スポーツの必要性を十分に理解させ、生涯にわたって各自の健康を考えて、生活に欠かすことのできない重要な一部として位置づけさせる

2. 副教材・参考書

アクティブスポーツ (大修館書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

けがや障害を起こさないように準備運動と整理運動をしっかりと行う。  
事故防止に心がけてお互いの安全を確認する習慣をつけさせる

4. 宿題・課題・再試について

実技テストにおいて基準に達していない者は再試を行うこともある

5. 評価の基準について

・クラス別体育の実技は40%、提出物を20%にして評価をする。

6. その他

・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は教科書内の別の単元を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツテスト 50M走・立ち幅跳び・ハンドボール投げ</li> <li>・バドミントン グリップの理解、ストロークの理解、ラリーを組み立てる、サービス</li> </ul>
二学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バドミントン シングルのゲームの進め方、ルールと審判法、リーグ戦で試合を行う</li> <li>・フライングディスク ディスクの扱い方、アルティメット(試合)の進め方</li> </ul>
三学期	授業内試験	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グラウンドホッケー スティック・ボールの理解 スティック・ボールの扱いを習得する 1チーム5名で、7分ゲームを行う</li> </ul>

単位数	2 単位
担当	二見 井上
教科書	
対象生徒	高校 3 年

1. 授業の目標

- ・医療・福祉に関係した職業の社会的役割について、知識・理解を深める。
- ・現代における医療・福祉等の社会問題について、興味・関心を持ち、知識・理解を深めた上で、自分はその社会問題に対して、どのように考えたかを表現することができる。
- ・グループ活動や発表を通じて、他者の意見を聴いた上で、視野を広め、自分の考えを深める。
- ・救命に関する手技について自信をもって行える。
- ・授業全体を通して、自他の生命を大切にし、社会のために自分が貢献できることは何かを考え、表現できる。

2. 副教材・参考書

プリント教材

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・作品を作成する際は、情報収集、情報の選択・分析を十分に行い、自分の個性がでるようにまとめる。
- ・実習については、準備の段階から十分に行う。
- ・発表に向けて事前練習を万全に行う。
- ・外部講師がいらした際には、挨拶・身だしなみをいつも以上に気をつける。

4. 課題について

- ・單元ごとの課題はパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限を守る。

5. 評価の基準について

- ・授業内テスト 40% 課題・作品・発表・実技等 60% (※配点は、活動内容によって変動あり) により評価をする。
- ・遅刻や提出期限が守れなかった場合は、減点を行う。

6. その他

特になし

以下の授業計画は、予定であり、変更する可能性がある。

授業計画		授業内容 (教材)
学期	試験	

一学期	授業内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オリエンテーション</li> <li>・コ・メディカルとは 医療・福祉に関する職種、協働、チーム医療の理解 興味のある職種を調べて発表</li> <li>・ヘルス・リテラシー</li> <li>・普通救命講習講座 座学・実技</li> <li>・現代の医療福祉問題について 高齢社会の現状・高齢者を取り巻く医療とケア 認知症サポーター養成講座 外部講師</li> <li>・授業内テスト</li> </ul>
二学期	授業内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットの作成 医療・保健・福祉の情報をわかりやすく周知させる</li> <li>・現代の医療福祉問題について がんの統計・原因・症状・治療法等の理解 女性特有のがんの理解 外部講師による講演</li> <li>・日本赤十字における献血活動 献血の需要・供給、現状、献血実施の流れの理解 外部講師による講演</li> <li>・健康マスター検定</li> <li>・現代の医療福祉問題について 安楽死・尊厳死について</li> <li>・授業内テスト</li> </ul>
三学期	授業内	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療福祉問題について(自分でテーマを選択し、発表)</li> </ul>

単位数	2 単位
担当	芦田
教科書	現代高等保健体育 (大修館書店) アクティブスポーツ (大修館書店)
対象生徒	高校 3 年

1. 授業の目標

個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を具体的かつ行動的に管理し、改善していく資質や能力を育てる。

2. 副教材・参考書

プリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

人間科学 (体育・スポーツ系) に進むことを考えている生徒にとって、基礎知識を理論と実践を通して獲得していく授業内容に展開していく。

4. 宿題・課題・再試について

授業内試験を行い、再試が必要な生徒は個別に対応する。

5. 評価の基準について

・定期試験の得点を 70%、提出物を 30%にして評価をする。

6. その他

・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は別の単元を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	授業内試験	筋肉や骨格の名称 筋の構造 (遅筋・速筋) トレーニングの原理原則 行動体力・防衛体力 筋肉とエネルギー 筋収縮、主働筋、拮抗筋、運動単位 関節角度と可動域 トレーニングの種類 授業内試験
二学期	授業内試験	ウォーミングアップ&クールダウン コンディショニング 食事とトレーニング サプリメント 女性アスリートの 3 主徴 スポーツ傷害とその予防 トレーニング計画の立て方 1 授業内試験
三学期	課題	トレーニング計画の立て方 2 レポート課題提出

マナー講座（2026年度）

単位数	2単位
担当	中村・栗山
教科書	なし
対象生徒	高校3年 選択(F・H)

1. 授業の目標

マナーは国や時代・文化によって異なるが、共通する点は相手を思いやる心である。

このマナー講座では、主に日本のマナーについて学び、日本文化を理解し、礼儀作法やマナーを身に付ける。3分野から構成されており、倫理・マナー分野では礼儀作法・敬語の使い方・メールの書き方・電話の応対、善や悪、マナーや道徳について学び、「より良く生きる」とはどのようなことかを学ぶ。

茶道では、作法を通して日本人が大切にしてきた文化、禅のこころ・茶のこころに触れ、日常生活の中に活かせることを目標とする。

華道では、日本の伝統的な文化の1つでもある華道の基本的な知識を学び、さらに今の生活の中で活かしていく工夫を知る。

2. 副教材・参考書

・なし

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・各学期において、授業内で疑問を解決し、計画的に提出物等を提出する姿勢で参加することが望ましい。
- ・茶道と華道については、「温故知新」、古の智慧を学び、今に生かす姿勢が重要である。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ノートや作品・発表の点数をパフォーマンス評価の対象とするため、必ず提出期限までに提出する。
- ・必要に応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・各学期の課題について、パフォーマンス評価（100%）として評価をする。
- 1学期：茶道 40% 華道 40% マナー20%
- 2学期：茶道 40% 華道 40% マナー20%
- 3学期：茶道 40% 華道 40% マナー20%

授業計画			
学期	試験	分野	授業内容(教材)
第1学期	期末	茶道	1. (座学) ガイダンス 茶道についての基本的な知識、茶花について、お道具についての説明、お辞儀の種類、挨拶の仕方、茶道の発祥や流派について 2. (座学+ワークショップ) 茶道についての基本的な知識 基本の作法について (お辞儀の作法や、足の運び、玄関からの入り方、お辞儀の仕方など) 3. (実技) 裏千家の基礎 盆略手前

		華道	<p>1. ガイダンス 華道の基本的な知識、道具の取り扱い方、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>2. ワークショップ+先生のデモンストレーション 華道の歴史や基本的な知識、生け方の基礎を学ぶ。 先生の生け方を見ながら基礎を学ぶ。 いけ終わった作品を見て、お花ノートの書き方を学ぶ。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶその1 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートを書く。</p>
		マナー	<p>1. 第一印象の大切さについて・教室開きとともに敬語の使い方</p> <p>2. ビジネス用語を学び、ビジネス用語を用いて話す。</p>
第二学期	期末	茶道	<p>1. (実技) 裏千家の基礎 足の運び、襖の開け方、割り稽古(茶巾の扱い方、帛紗の扱い方、懐中の仕方、付け方、捌きかた、茶筌通し、お茶碗の清め方、仕組み茶碗の仕方、お盆の持ち方)</p> <p>2. お茶碗の持ち方、お茶の運び、お茶の頂き方、お菓子の頂き方</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その2 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊のミニチュア花器の基礎を学ぶ 小さな空間でお花をいける基礎を学び、お花ノートに書く。</p> <p>3. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その3 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>4. アレンジメントの基礎を学ぶ 季節にあったアレンジメント作成を行い、お花ノートに書く。</p>
		マナー	<p>1. 公式の場でのマナー及びロールプレイ</p> <p>2. ビジネスシーンでのマナー及びロールプレイ</p>
第三学期	学年末	茶道	<p>1. (実技) 裏千家の基礎 盆略手前</p> <p>2. お稽古を通して学んだこと、気づいた事のシェア</p> <p>3. お客様としての作法(お菓子のいただき方、お茶のいただき方)</p>
		華道	<p>1. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その4 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p> <p>2. 池坊の自由花の基礎を学ぶ・その5 自分で生けてみて、先生に直していただき、お花ノートに書く。</p>
		マナー	<p>1. ビジネスシーンでのマナー及びロールプレイ</p> <p>2. ビジネスシーンでのマナー及びロールプレイ</p>

Intensive English (2026年度)

単位数	2単位
担当	早川
教科書	Cutting Edge Green (エミル出版) Next Stage (桐原書店)
対象生徒	高校3年敬の組(英語クラス)

1. 授業の目標

大学入試レベルへの英文読解力と語彙・文法知識を段階的に養成していく。

2. 副教材・参考書

授業内のプリント

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・テキストは何度も繰り返して知識を定着させる。
- ・既習事項の整理・定着をさせるために授業後の復習を大切にする。
- ・Next Stage は原則毎週小テストがある。コツコツと継続した学習を習慣にする。

4. 宿題・課題・再試について

- ・Cutting Edge は復習が必須。何度も読み直して、スラスラ内容理解できるようにすること。また、長文を実際に読むことを通して、語彙・長文読解ストラテジーを身につけること。
- ・Next Stage は範囲を決めて小テストをする。計画的・反復学習が必要である。
- ・定期試験は各学期で期末試験のみ実施する。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試、または課題を課する。
- ・評価は定期考査80%、提出物等のパフォーマンス評価10%、小テスト10%

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

		Cutting Edge				Next Stage
学期		Unit	Chapter	分野・話題		小テスト範囲(問題番号)
1 学期	期 末	1	1	環境	食事とCO2	第17章 動詞の語法① (問題 515-572)
			2	健康	必要水分量	第17章 動詞の語法② (問題 573-641)
			3	言語	英語の変遷	第18章 形容詞・副詞の語法 (問題 642-704)
		2	5	動物	絶滅危惧種の選定	第19章 名詞の語法 (問題 705-742)
			6	エッセイ	嘘も方便	第20章 頻出基本イディオム70 (問題 743-812)
			8	社会	老人ホームへの贈り物	第21章 動詞を含むイディオム① (問題 813-875)
2 学期	期 末	3	9	経済	生活賃金	第21章 動詞を含むイディオム② (問題 876-938)
			10	国際	アフリカのブランド商品	第21章 動詞を含むイディオム③ (問題 939-999)
			11	自然	サンゴ礁	第21章 動詞を含むイディオム④ (問題 1000-1065)
		4	14	科学	豪華客船の沈没	第22章 形容詞・副詞を含むイディオム (問題 1066-1122)

			15	教育	教育と報酬	第23章 名詞を含むイディオム① (問題 1123-1163)
		5	16	技術	自動運転車	第23章 名詞を含むイディオム② (問題 1164-1211)
3 学期	学 年 末	5	17	睡眠	睡眠の常識	第24章 前置詞の働きをするイ ディオム (群前置詞) (問題 1212-1244)
			18	心理	幸福感	第25章 会話表現① (問題 1245-1301)

単位数	4単位
担当	本間B・山本(里)ZC
教科書	Landmark Fit English Com. III (啓林館)
対象生徒	高校3年

#### 1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・目的や場面、状況等に応じて外国語でコミュニケーションを図る力を着実に育成（5領域）「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の力をバランスよく育成する。

#### 2. 副教材・参考書

Landmark Fit English Com. III サブノート・WORK BOOK (啓林館)

英語4技能型テストへのアプローチ② (数研出版)

Harmony New Edition (いっずな書店)

#### 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に行う。
- ・リプロダクションやパフォーマンステストでは課内で学習したことを積極的に活用する。
- ・週1回実施される単語の小テストは事前に自分で十分に学習してから受験をする。

#### 4. 宿題・課題・再試について

- ・新出単語は各自発音練習を繰り返し行う。スピーキングやライティング能力を伸ばす課題にも取り組む。
- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・パフォーマンステストでは正確さだけではなく、積極性も図られるのでしっかり準備して取り組むこと。

#### 5. 評価の基準について

- ・定期試験：中間・期末試験を行う。
- ・評価：定期試験[中間・期末の平均 x0.8]の点数に平常点（パフォーマンス点10点、提出物5点・小テスト5点）を加え評価する。

## 6. その他

授業計画は予定であり、内容が変わる場合もある。

授業計画			
学期	試験	授業内容（教材）	
一学期	中間	Lesson 1 Incredible Edible ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表	4 技能テスト Test 1
	期末	Lesson 2 Blood Is Blood ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表	4 技能テスト Test 2
		パフォーマンステスト	
二学期	中間	Lesson 6 Body Imperfect ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表	4 技能テスト Test 3
	期末	Lesson 7 Christmas Truce ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表	4 技能テスト Test 4
		パフォーマンステスト	
三学期	学年末	Lesson 9 Extinction of Languages ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表	
		パフォーマンステスト	

英語コミュニケーションⅢ (2026年度)

単位数	5単位
担当	斉藤、Runa Trinh
教科書	Landmark Fit English Com. III (啓林館)
対象生徒	高校3年英語クラス

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・目的や場面、状況等に応じて外国語での「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の力をバランスよく育成する。

2. 副教材・参考書

Landmark Fit English Com. III サブノート・WORK BOOK (啓林館)  
 英語4技能型テストへのアプローチ② (数研出版)  
 ロジカルスピーキング社会課題編スタンダード

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書にざっと目を通し、何が書かれているのか、トピックの推測をすることが望ましい。
- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に参加する。
- ・約週1回実施される単語の小テストは、事前に自分で十分に学習してから受験をする。常に満点を目指す。
- ・予習することが望ましい。ALTと英語で活動する機会がより増える。

4. 宿題・課題・再試について

- ・新出単語は各自発音練習なども繰り返し行う。スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する。
- ・パフォーマンステストの課題は十分に準備を行ってから参加をする。
- ・授業は主に共通のオリジナルワークシートを用いて行う。必要に応じてプリントを配布する。
- ・ロイロノートなどで配信される課題もあり。期限を守って提出する。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。70点以上を到達点とする。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物を含むパフォーマンス評価(30%)により評価をする。
- ・定期試験には応用問題を含む。
- ・パフォーマンス評価は提出物、各学期末のパフォーマンステスト、小テストの結果から評価する。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	Lesson 2 Blood Is Blood / 4技能テスト② Test 1・2 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
	期末	Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains / 4技能テスト② Test 3・4 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
二学期	中間	Lesson 5 Political Correctness / 4技能テスト② Test 5、6 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
	期末	Lesson 6 Jose' Mujica: The World's Poorest President / 4技能テスト② Test 7 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
三学期	学年末	Reading 2 They are us ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表

英語コミュニケーションⅢ (2026年度)

単位数	4単位
担当	斉藤、ムツリシ
教科書	Landmark Fit English Com.Ⅲ (啓林館)
対象生徒	高校3年特進クラス

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・目的や場面、状況等に応じて外国語での「聞くこと」「読むこと」「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」の力をバランスよく育成する。

2. 副教材・参考書

Landmark Fit English Com.Ⅲ サブノート・WORK BOOK (啓林館)  
英語4技能型テストへのアプローチ② (数研出版)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書にざっと目を通し、何が書かれているのか、トピックの推測をすることが望ましい。
- ・授業で終わった内容は、サブノート、WORK BOOK、プリント類で復習する。
- ・新出語の発音練習や教科書音読の際は間違いを恐れずに声を出して積極的に参加する。
- ・約週1回実施される単語の小テストは、事前に自分で十分に学習してから受験をする。常に満点を目指す。
- ・予習することが望ましい。ALTと英語で活動する機会がより増える。

4. 宿題・課題・再試について

- ・新出単語は各自発音練習なども繰り返し行う。スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する。
- ・パフォーマンステストの課題は十分に準備を行ってから参加をする。
- ・授業は主に共通のオリジナルワークシートを用いて行う。必要に応じてプリントを配布する。
- ・ロイロノートなどで配信される課題もあり。期限を守って提出する。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。70点以上を到達点とする。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物を含むパフォーマンス評価(30%)により評価をする。
- ・定期試験には応用問題を含む。
- ・パフォーマンス評価は提出物、各学期末のパフォーマンステスト、小テストの結果から評価する。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	Lesson 2 Blood Is Blood / 4技能テスト② Test 1・2 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
	期末	Lesson 4 Men's Brains vs. Women's Brains / 4技能テスト② Test 3・4 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
二学期	中間	Lesson 5 Political Correctness / 4技能テスト② Test 5、6 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
	期末	Lesson 6 Jose' Mujica: The World's Poorest President / 4技能テスト② Test 7 ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表
三学期	学年末	Lesson 8 The Story of My Life ・ワークシートを用いた速読及び音読練習・ディクテーション、リプロダクション、意見交換及び発表

ⅢH Talking and Reading (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	早川 Runa Trinh
教科書	なし
対象生徒	高校 3 年 選択ⅢH

1. 授業の目標

あるテーマについて、よく考え、英語で自分の意見を発信したり、相手と意見交換をしたりできるようになる。  
To be able to talk at length, to connect the reading with spoken communication, to give a logical monologue on a given topic.

2. 副教材・参考書

e-STATION (コスモピア)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

Talking、Reading のいずれにおいても、興味を持って activity 取り組むことで英語力が向上する。activity は英語の 5 技能すべてに関わる活動があるので、積極的に参加することで、実際の社会で役立つ英語による発信力が身につく。

4. 宿題・課題・再試について

宿題は、期日を守り、提出すること。宿題をすることで授業内容の理解が深まる。

5. 評価について

・試験の得点、パフォーマンステスト、提出物等により評価をする。Reading 50%、Talking50%。

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	1 [School Life & Youth] 2 [Society] 3 [Culture①]  1 時間目 Reading テーマについて、英文を読み、内容読解やリテリング等を行います。
二学期	期末	1 [Fantasy] 2 [Love & Romance] 3 [Novel]  2 時間目 Talking テーマについて、グループトークやライティング、プレゼンテーション等を行います。
三学期	学年末	[Understanding a popular fiction] *Choose 1 story and make a presentation *Fantasy, Fiction, Classics are recommended

論理・表現Ⅲ (2026年度)

単位数	2単位 English Speakerの教員1時間＋日本人教員1時間)
担当	丹野 山本 早川 Alvaro Danilo Levia Runa Trinh
教科書	HarmonyⅢ (いいずな書店)
対象生徒	高校美～聖 (進学クラス)

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動及びこれらを結びつけた統合的な言語活動を通して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・5領域のなかの特に3領域、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」において、発信力の強化をはかる。

2. 副教材・参考書

HarmonyⅢ All-in-One Workbook (いいずな書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・英語で自分の事を表現する楽しさを感じながら勉強すること。
- ・高1、高2での既習事項の整理・定着をさせるために授業後の復習を大切にする。
- ・英語を話したり、書いたりするアウトプット活動が授業では多いので、間違いを恐れずに積極的に参加すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・文法項目を学んだあと、反復練習と確認のための課題を出す。  
また、スピーキングやライティング能力を伸ばす為、発表する機会もある。
- ・必要に応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は70点以上とする。  
または課題を期日までに提出しなければならない。

5. 評価の基準について

- ・授業内試験の点数から10段階で評価する。課題の提出物、授業内小テスト、授業発表も評価内に含む。

パフォーマンス評価はネイティブの先生の授業評価を50パーセント、日本人の授業内容、試験内容を50パーセントとする。定期試験は毎回行う。定期試験には応用問題も含まれる。(約20%)

- ・以下の表のように観点別評価をつける。

6. その他

- ・授業計画は予定である。適宜、既習範囲の復習は内容が変わる場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	期末	日本人：Lesson 1 My Hometown 自分が住む街について説明する Lesson 2 The Place I'd Like to Live 住んでみたい場所を想像する Lesson 3 Designing "Future Cities" 未来の都市計画について考える 外国人：Easy Paragraph Writing
二学期	期末	日本人：Lesson 4 Refreshing Our Minds and Bodies 気分転換の方法や娯楽について話す Lesson 5 Study Struggles 好きなことや得意なことについて話す Lesson 6 Choosing a Career Path 将来のキャリアについて考える 外国人：Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
三学期	学年末	日本人：Lesson 7 Extreme Weather around the World 世界の異常気象について考える 外国人：“Graduation Trip Plan (Presentation Slides with Narration)

論理・表現Ⅲ (2026年度)

単位数	3単位 English Speaker の教員 1 時間＋日本人教員 2 時間)
担当	松本、Runa Trinh
教科書	HarmonyⅢ (いっずな書店)
対象生徒	高校3年(英語クラス)

1. 授業の目標

- ・外国語によるコミュニケーションの捉え方を身につける。英語で聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を統合して、情報や考えなどを的確に理解したり適切に表現したりする。コミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
- ・5領域のなかの特に3領域、「話すこと [やり取り]」「話すこと [発表]」「書くこと」において、発信力の強化をはかる。

2. 副教材・参考書

Harmony English Logic and Expression III (いっずな書店) 全クラス共通  
総合英語 Harmony (いっずな書店)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・英語で自分の事を表現する楽しさを感じながら勉強すること。
- ・高1、高2での既習事項の整理と定着のために、授業後の復習を大切にすること。
- ・英語を話す、書くといったアウトプット活動が多いので、間違いを恐れずに積極的に参加すること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・文法項目を学んだあと、反復練習と確認のための課題を出す。また、発表する機会も活用する。
- ・オリジナルプリントを配布、小テストを実施する。必ずファイリングして繰り返し見直すこと。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験しなければならない。合格点は70点以上とする。

5. 評価の基準について

- ・授業内試験の点数から10段階で評価する。課題の提出物、授業内小テスト、授業発表も評価内に含む。パフォーマンス評価はEnglish speaker 教員の授業評価を50パーセント、日本人の授業内容、試験内容を50パーセントとする。定期試験は毎回行う。定期試験には応用問題も含まれる。

6. 授業計画

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	日本人: Lesson 1 My Hometown 自分が住む街 Lesson 2 The Place I'd Like to Live 住んでみたい場所 Lesson 3 Designing "Future Cities" 未来の都市計画 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	期末	日本人: Lesson 4 Refreshing Our Minds and Bodies 気分転換の方法や娯楽 Lesson 5 Study Struggles 好きなことや得意なこと Lesson 6 Choosing a Career Path 将来のキャリア 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
二学期	中間	日本人: Lesson 7 Extreme Weather around the World 世界の異常気象 Lesson 8 Working to Solve Energy Problems エネルギー問題 Lesson 9 For the Future of Our Planet 地球の未来 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)
	期末	日本人: Lesson 10 What's Ethical Shopping? 買い物と世界経済 Lesson 11 Global Economic Inequality 経済格差 Lesson 12 Sustainable Economic Growth 持続可能な経済成長 外国人: Speaking and Writing for EIKEN (Expressing Opinions)

三 学 期	学 年 末	日本人：1 学期、2 学期の総復習 外国人：1 学期、2 学期の総復習
-------------	-------------	--

## 高3英語演習(2026年度)

単位数	2単位
担当	早川・鈴木
教科書	CROSSBEAM 総合問題集 Pre-Standard
対象生徒	高校3年選択ⅢG、ⅢI

### 1. 授業の目標

- ・社会・文化・科学など幅広い分野の英文を理解するために必要な語彙、表現を身につける。
- ・テーマごとの文法事項を、文脈に即して理解し、活用できるようにする。
- ・様々な種類の図表問題を通して、正確な読み取りができるようになる。
- ・300~400語程度の英文を、語順のまま理解できるようになる。

### 2. 副教材・参考書

エミル出版 CROSSBEAM PS Navi Book

### 3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・英文の細部を理解しようとする読み方と、全体像をつかもうとする読み方の両方を意識する。
- ・授業が終わった内容は教材、宿題プリントで復習する。疑問点は放置せず、質問しましょう。
- ・一般入試を利用して大学合格を目指す生徒を対象とした授業で、文法・語法・整序作文・会話・リスニング問題などの総合問題を解いていく。
- ・レベルはスタンダードで、大学入学共通テスト、私大入試に合わせたものである。
- ・リスニング問題は音声教材を使って実施する。

### 4. 宿題・課題・再試・評価について

- ・教材、宿題プリントを適宜宿題とする。提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を受験する。合格点は50点以上とする。
- ・宿題は、授業内で指定。音読、リスニング、文法問題などを課す。
- ・リスニング問題は音声教材を使って実施する。

### 5. 評価の基準について（※状況に応じて、内容を変更する可能性がある。）

- ・定期試験の得点(基本問題 50% 応用問題 30%)、提出物(20%)により評価をする。  
試験は期末試験のみ。

授業計画			
学期	試験		授業内容(教材)
1 学期	期末	Chapter1 読解 文法 リスニング	■ 社会 5文型 ダイアローグ
		Chapter2 読解 文法 リスニング	■ 国際・表の読み取り 時制 モノローグ
		Chapter3 読解 文法 リスニング	■ 人物・広告文 助動詞 ダイアローグ
		Chapter4 読解 リスニング	■ 動物・英作文 ダイアローグ
2 学期	期末	Chapter5 読解 文法 リスニング	■ 社会 受動態 モノローグ
		Chapter6 読解 文法 リスニング	■ 人権・広告文 動名詞・不定詞 モノローグ
		Chapter7 読解 文法 リスニング	■ 経済 動名詞・不定詞 ダイアローグ
		Chapter8 読解 文法 リスニング	■ 生活 受動態 ダイアローグ
		Chapter9 読解 文法 リスニング	■ 国際 現在分詞・過去分詞 モノローグ
		Chapter10 読解 文法 リスニング	■ 言語 関係詞 ダイアローグ
3 学期	学年末	Chapter11 読解 文法 リスニング	■ 文化 比較 モノローグ
		Chapter12 読解 文法 リスニング	■ 環境・英作文 比較・関係詞 ダイアローグ
	適宜	Chapter13 読解	■ 宇宙・図表の読み取り 関係詞 2 ダイアローグ
		Chapter14 読解	■ 経済 仮定法 モノローグ
		Chapter15 読解	■ 自然 関係詞 ダイアローグ

家庭総合 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	関野・八木・川里
教科書	家庭総合(実教出版)
対象生徒	高校 3 年

1. 授業の目標

生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力の育成を目指す。

SDGs の目標

家族の役割、生活時間など家庭生活のあり方を考える。

子どもの発達や保育について理解し、共に支えあう社会を考える。

衣服の着方・手入れ・管理について学び、環境や資源を大切に衣生活のあり方を考える。

2. 副教材・参考書

保育教材：フリースとマイクロファイバーでつくるアニマルクリーナー（アイセック）

ビデオ教材：楽しい食事のマナー（和食のマナー編、洋食のマナー編）

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

学んだことを実生活で活かせるよう、自身の生活やライフコースに照らし合わせて考える。

4. 宿題・課題・再試について

パフォーマンス評価課題の他、授業内容に応じてプリントやロイロの課題を配付する。

定期試験の結果が 30 点未満の場合は、課題を課す。

5. 評価の基準について

1 学期：期末試験 80%、課題 20%

2 学期：期末試験 80%、作品 20%

3 学期：学年末試験 80%、課題 20%

6. その他

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	ひとり立ちへの Step 4-8 テーブルセッティングとマナー 基礎的な外食マナーの習得 ・ビデオ教材(洋食のマナー、和食のマナー) 第 2 章 自分らしい生き方と家族 変化する家族、世帯のかたちや家族法の知識を習得する ・自立と共生 ・ライフキャリア ・共に生きる家族 ・家族に関する法律
二学期	期末	第 3 章 子どもとかかわる 乳幼児期の発育・発達の基礎的な知識を習得する ・子どもの発達 ・子どもの生活 ・子どもをはぐくむ ・子どものための社会福祉 (実習) アニマルクリーナーの製作
三学期	学年末	第 7 章 衣生活をつくる 衣服の適切な手入れ方法を選択できる知識と実践力を養う ・人と衣服のかかわり ・衣服の素材の種類と特徴 ・衣生活の選択から管理まで ・持続可能な衣生活をつくる

### 高3 論理国語(特進・進学・英語 2026年度)

単位数	2単位
担当	新村・渡邊賢
教科書	大修館書店『論理国語』
対象生徒	高校3年美・善・真・聖・敬

#### 1. 授業の目標

言語活動を通して、論理的に書いたり批判的に読んだりする力を育成することを目指す。

- ①基本的な漢字や語彙力を習得し、精読することができるようにする。
- ②自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようにする。
- ③文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、自分の考えを深めることができるようにする。

#### 2. 副教材・参考書

浜島書店『LT 現代文2』（進学・英語）  
 浜島書店『LT 実践長文読解』（特進）  
 大修館『国語便覧』  
 尚文出版『常用漢字ダブルクリア四訂版』

#### 3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①学習活動・課題に積極的に取り組む。
- ②プリントを用いて、授業内容を毎時間しっかりとまとめる。
- ③問題読解には、まず自分で取り組み、答え合わせの際はグループでの意見交換に積極的に取り組む。
- ④提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

#### 4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣をつけるために、課題を課す。
- ②再試は定期試験の得点が30点未満のものを対象とする。
- ③教材に応じて意見を書く課題を課す。
- ④各学期で予定表に従い、授業内で漢字テストを実施する。
  - ・日常生活で使用する漢字を身につけさせる。
  - ・漢検合格を目指す。
- ⑤1年次から継続して「読書ノート」を作成する。学期に1回、授業内で交換会を開く。
- ⑥一般受験ができる文章読解力を鍛えるために『LT 実践長文読解』（特進クラス）・『LT 現代文2』（進学クラス・特進クラス）を活用する。

#### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(70%)と提出物・発表・授業内試験(30%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

#### 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	教科書 テーマ「自己と他者」 評論『人はなぜ贈与するのか』松村圭一郎(P210~218) 『LT 実践長文読解』(特進クラス) 『LT 現代文2』(進学クラス・英語クラス) 『常用漢字ダブルクリア四訂版』
	期末	教科書 テーマ「メディアの変容」 評論『消費されるスポーツ』多木浩二(P250~257) 『LT 実践長文読解』(特進クラス) 『LT 現代文2』(進学クラス・英語クラス) 『常用漢字ダブルクリア四訂版』

一 学 期	中間	教科書 テーマ「メディアの変容」 評論『ポスト真実時代のジャーナリズムの役割』（P242～259） 『LT 実践長文読解』（特進クラス） 『LT 現代文2』（進学クラス・英語クラス） 『常用漢字ダブルクリア四訂版』
	期末	教科書 テーマ「政治と社会」 評論『多数決を疑う』坂井豊貴（P294～301） 『LT 実践長文読解』（特進クラス） 『LT 現代文2』（進学クラス・英語クラス） 『常用漢字ダブルクリア四訂版』
三 学 期	学年末	教科書 テーマ「歴史と時間」 評論『日本文化の三つの時間』の構築』加藤周一（P391～396） 『LT 実践長文読解』（特進クラス） 『LT 現代文2』（進学クラス・英語クラス） 『常用漢字ダブルクリア四訂版』

現代文演習 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	渡邊
教科書	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』(数研出版) 『ニューフェイズ現代文2+』(第一学習社) 『読解現代文必携キーワードの卵』(尚文出版)
対象生徒	高校3年 選択ⅢC

1. 授業の目標 読解力を高め、大学受験に対応できる力を身に付ける。
  - ①多くの問題演習を通して、読解力を高め、問題に的確に答えることができる。
  - ②共通テストの問題形式に対応する力をつけ、問題を解くことができる。
  - ③私大現代文の問題を時間内に解くことができる。
2. 副教材・参考書  
『常用国語便覧』(大修館書店)
3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
  - ・授業展開は評論文、小説、実用文における問題演習を適宜行っていく。
  - ・現代文読解に必要な語彙力をつけるため、『読解現代文必携キーワードの卵』を使って小テストを実施。
4. 宿題・課題・再試について
  - ・『読解現代文必携キーワードの卵』を使っての小テスト→定期試験で出題+パフォーマンス評価
5. 評価の基準について  
定期試験の得点(70%)とパフォーマンス評価(30%)により評価をする。  
観点別評価を行う。
6. その他  
授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』 論理 第1回 文学 第1回 実用 第1回 論理 第2回 『ニューフェイズ現代文2+』
	期末	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』 文学 第2回 実用 第2回 論理 第3回 文学 第3回 『ニューフェイズ現代文2+』
二学期	中間	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』 実用 第3回 論理 第4回 文学 第4回 実用 第4回 『ニューフェイズ現代文2+』
	期末	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』 論理 第5回 文学 第5回 実用 第5回 論理 第6回 『ニューフェイズ現代文2+』
三学期	学年末	『四訂版大学入学共通テスト実践演習 論理・文学編』 文学 第6回 実用 第6回 『ニューフェイズ現代文2+』

古典演習(2026年度)

単位数	2単位
担当	新村
教科書	『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』(数研出版) 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)
対象生徒	高校3年 選択ⅢD

- 授業の目標 読解力を高め、大学受験に対応できる力を身に付ける。
  - ①多くの問題演習を通して、読解力を高め、問題に的確に答えることができる。
  - ②共通テスト(古典分野)の問題形式に対応する力をつけ、問題を解くことができる。
  - ③私大古典の問題を時間内に解くことができる。
- 副教材・参考書
  - 『常用国語便覧』(大修館書店)
  - 『学ぶぞ 古文と漢文 新装版』(尚文出版)
  - 『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』(尚文出版)
  - 『古文単語300』(いいずな書店)
- 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等
  - ・授業展開は古文分野・漢文分野を適宜行っていく。
  - ・前回の授業の学習事項の確認小テストを実施する。(古文単語含む)
- 宿題・課題・再試について
  - ・『古文単語テスト』の小テスト→定期試験で出題+パフォーマンス評価
  - ・前回学習した範囲は次週に確認テストを行う。→定期試験で出題+パフォーマンス評価
- 評価の基準について
  - ・定期試験の得点(80%)と提出物・発表・授業内試験(20%)により評価をする。
  - ・観点別評価をつける。
- その他
  - 授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	文法確認 『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第1回 漢文 第1回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』 古文第1回・第2回 漢文第1回・第2回
	期末	『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第2回・第3回 漢文 第2回・第3回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』 古文第3回・第4回 漢文第3回・第4回
夏休み		課題 『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第4回・第5回 漢文 第4回・第5回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』

		古文第5回・第6回 漢文第3回・第5回
二 学 期	中間	『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第6回・第7回 漢文 第6回・第7回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』 古文第7回・第8回・第9回 漢文第7回・第8回・第9回
	期末	『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第8回・第9回 漢文 第8回・第9回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』 古文第10回・第11回・第12回 漢文第10回・第11回・第12回
三 学 期	学年末	『大学入学共通テスト実践演習 古文・漢文編』 古文 第10回 漢文 第10回 『プロGRESS古典総演習 標準編』(いいずな書店)』 古文第13回 漢文第13回

## 古典探究 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	時田
教科書	『新編古典探究』(東京書籍)
対象生徒	高校 3 年 美・善・真・敬

### 1. 授業の目標

- ①古典文学に親しみ、古典の楽しさを実感する。
- ②古典文法の基礎、重要古語、漢文の句法を修得する。
- ③古文・漢文を、文法事項を習得しながら、数多く読みこなす。
- ④古文の精読と速読の両方ができる力を身に付ける。  
→SDGs の目標 17「住み続けられるまちづくりを」の達成目標 11-4「世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保っていくための努力を強化する」に繋げていく。

### 2. 副教材・参考書

いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』  
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文』  
尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 基本練習ノート』  
いいずな書店『古典単語 330』  
岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』  
大修館『トータルサポート新国語便覧』

### 3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①古文・漢文のリズムをつかめるように繰り返し音読させ、学期に一度音読の試験を行う
- ②家庭学習の習慣化と前回学習内容の定着度を測るため、確認テスト・古文単語テストを行う。
- ③予習を習慣化し、復習しやすいノート作りを目指す。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣化と前回授業内容の定着度を測るため、確認テスト等を行う。
- ②定期試験で得点の低かった分野、特に文法事項については課題を課す。
- ③各定期試験後に必ずノートを提出する。
- ④古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑤速読課題・テキスト宿題を用いて、読解力を高める。
- ⑥古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑦週 1 回、授業内で古文単語テストを実施する。

### 5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)、提出物(20%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

### 6. その他

- ①授業計画は予定であり、変更することがある。
- ②聖組(特進クラス)の定期試験は進学クラスとは異なる試験を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	古文 軍記物語を味わう 『平家物語』 「壇の浦の合戦」 (P 66～74) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 史記を読む 『項羽と劉邦』 「四面楚歌」 (P 190～191) 古文 軍記物語を味わう 『平家物語』 「壇の浦の合戦」 (P 66～74) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
二学期	中間	古文 作り物語を味わう 『源氏物語』 「若紫」 (P 132～138) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
	期末	漢文 中国の思想 『儒家と道家』 (P 250～260) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』
三学期	学年末	古文 和歌の世界 『小倉百人一首の世界』『「小倉百人一首」より』 (P 40～52) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 いいずな書店『プロGRESS 古典 総演習 基本編』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』

高3聖（特進）古典探究(2026年度)

単位数	2単位
担当	新村
教科書	『新編古典探究』（東京書籍）
対象生徒	高校3年

1. 授業の目標

- ①古典文学に親しみ、古典の楽しさを実感する。
- ②古典文法の基礎、重要古語、漢文の句法を修得する。
- ③古文・漢文を、文法事項を習得しながら、数多く読みこなす。
- ④古文の精読と速読の両方ができる力を身に付ける。  
→SDGsの目標17「住み続けられるまちづくりを」の達成目標11-4「世界の文化遺産や自然遺産を保護し、保つていくための努力を強化する」に繋げていく。

2. 副教材・参考書

- 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』  
 尚文出版『学ぶぞ古文と漢文』  
 尚文出版『学ぶぞ古文と漢文 基本練習ノート』  
 いいずな書店『古典単語330』  
 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』  
 大修館『トータルサポート新国語便覧』

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①古文・漢文のリズムをつかめるように繰り返し音読させ、学期に一度音読の試験を行う
- ②家庭学習の習慣化と前回学習内容の定着度を測るため、確認テスト・古文単語テストを行う。
- ③予習を習慣化し、復習しやすいノート作りを目指す。

4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣化と前回授業内容の定着度を測るため、確認テスト等を行う。
- ②定期試験で得点の低かった分野、特に文法事項については課題を課す。
- ③各定期試験後に必ずノートを提出する。
- ④古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑤速読課題・テキスト宿題を用いて、読解力を高める。
- ⑥古典への興味を喚起するためレポート等の自主学習を課す。
- ⑦週1回、授業内で古文単語テストを実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)と提出物・発表・授業内試験(20%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

- ①授業計画は予定であり、変更することがある。
- ②聖組（特進クラス）の定期試験は進学クラスとは異なる試験を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	古文 軍記物語を味わう 『平家物語』 「壇の浦の合戦」（P66～72） 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』 いいずな書店『古典単語330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』ラブ編第2章
	期末	漢文 史記を読む 『項羽と劉邦』 「四面楚歌」（P190～191） 古文 軍記物語を味わう 『平家物語』 「壇の浦の合戦」（P66～72） 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』 いいずな書店『古典単語330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』ラブ編第3章

二 学 期	中間	古文 作り物語を味わう『源氏物語』「若紫」(P129) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』ライフ編第1章
	期末	漢文 中国の思想 儒家と道家(P250~259) 古文 作り物語を味わう『源氏物語』「若紫」(P129) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』 いいずな書店『古典単語 330』 岩波ジュニア新書『平安女子の楽しい生活』ライフ編第2章
三 学 期	学年末	古文 和歌の世界 『小倉百人一首』より(P40~49) 『学ぶぞ 古文と漢文』『学ぶぞ 古文と漢文 基本練習ノート』 第一学習社『ニューフェイズ 古典2』 いいずな書店『古典単語 330』ライフ編第3章

小論文講座(2026年度)

単位数	2単位
担当	天野、新村、中野、渡部、櫻田、 上山、時田、穂谷野
教科書	ステップアップ小論文(第一学習社) ステップアップ小論文ノート (第一学習社) チェック&ワーク(第一学習社) 小論文頻出テーマ解説集現代を知る puls (第一学習社)
対象生徒	高校3年 選択ⅢG

1. 授業の目標

新聞記事などの優れた文章を教材にして、要約力や論理的に文章を展開する表現力を学ぶ。  
特に社会的テーマについて、進路に応じた指導を行いながら意見主張文を書く力を養成し、実  
社会に必要な国語の知識や技能を身につける。  
授業を通じて「志望理由書」の書き方や受験に向けた小論文対策を行う。

2. 副教材・参考書

教科書の欄に同じ

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・「原稿用紙の使い方」を学び、受験に必要な「志望理由書」や「課題作文」や「小論文」を書く力を身につける。
- ・「記事コラム」や「小論文」などの課題の締め切りを守り、各担当の添削指導を受ける。
- ・定期試験(期末試験)では、添削指導によって指摘され箇所に気をつけて、時間内に指定の字数で文章を書き上げることを目標とする。

4. 宿題・課題・再試について

- ・「記事シート」などの「課題」は提出締め切り日を守って提出する。
- ・「テキスト」や「小論文」は授業内の課題が時間内に完成しなかった場合のみ、再度指定された期日までに担当まで提出する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)と提出物・発表・授業内試験(20%)により評価をする。
- ・観点別評価をつける。

6. その他

夏休みの課題として外部の「小論文コンクール」に参加することで社会問題の意識を高める。  
※授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイダンス・原稿用紙の使い方</li> <li>・記事コラムの書き方</li> <li>・小論文とは何か</li> <li>・「設問の条件を読み取ろう」・「課題を批判的にとらえよう」</li> <li>・「問題の原因を明らかにしよう」</li> <li>・夏休みの課題配布と説明</li> </ul>
二学期	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スピーチ練習・スピーチ発表、評価</li> <li>・「テーマ型小論文」, 「データ型小論文」, 「進路別小論文」</li> <li>・3学期の「小論文テーマ」について話し合う。</li> <li>・3学期に向けて、「テーマ型小論文」を書く。</li> </ul>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマ小論文(クラスごと)の返却</li> <li>・「創作コラム」のテーマを考える。</li> <li>・「創作コラム」600字(ロイロノートで作成)</li> <li>・「創作コラム」の発表。</li> </ul>

### 高3 文学国語(2026年度)

単位数	4単位
担当	穂谷野、櫻田
教科書	数研出版『文学国語』
対象生徒	選択ⅢCD 選択者

#### 1. 授業の目標

社会生活に必要な国語の知識や技能を身につける。  
他者との関わりの中で伝え合う力を高める。

- ①基本的な漢字や語彙力を習得し、精読することができるようにする。
- ②自分の意見を持ち、それを他者に伝えることができるようにする。
- ③深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、創造的に考える力を養う。

#### 2. 副教材・参考書

新潮文庫『こころ』

#### 3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①学習活動・課題に積極的に取り組む。
- ②授業内容を毎時間しっかりとまとめる。
- ③前の時間の学習内容の定着度を測るため、適宜確認テストを実施する。
- ④提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

#### 4. 宿題・課題・再試について

- ①家庭学習の習慣をつけるために、宿題もしくは次の時間の確認テスト等の課題を課す。
- ②再試は定期試験の得点が30点未満のものを対象とする。
- ③教材に応じて家庭学習用の課題を出す。

5. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画

学期	試験	教科書ページ	授業内容 (教材)
第一 学期	中 間	P32～	教科書 小説『鍋セット』角田光代  新潮文庫『こころ』
	期 末	P318～	教科書 小説『赤い繭』安倍公房  新潮文庫『こころ』
第二 学期	中 間	P10～	教科書 小説『山月記』中島敦  新潮文庫『こころ』
	期 末	P352～	教科書 小説『檸檬』梶井基次郎  新潮文庫『こころ』
第三 学期	学 年 末	P294～	教科書 小説『クリーム』村上春樹  新潮文庫『こころ』

## 書の道

単位数	2
担当	酒井 篤史
教科書	小倉百人一首を書こう
対象生徒	高3書道選択I 34名

### 1、授業の目標

平安時代に完成したかな文字の和歌を書き写すことでその歌に触れながら、かな文字の美しさに目覚めてもらう。

### 2、副教材・参考書

プリント等

### 3、学習する上での留意点

かな文字は、平仮名だけではなく変体仮名がある。今は使わない変体仮名や文字の連綿を学び、古筆に慣れる。

### 4、宿題、課題について

基本的に学期一度、創作作品を提出する。

### 5、評価の基準について

提出作品により基本となる評価を付ける。

その他、授業に対する姿勢が思わしくない場合や作品の提出遅れなどによって減点することもある。

また、作品の出来があまり良くなくても、コツコツと努力を重ねている者に関しては考慮する。

2026年度 年間指導計画表

学期	月	時間	教科書ページ	授業内容	指導内容・備考等	
一学期	4	1	P6	日本文化を再発見	筆に慣れたところで、いよいよ百人一首の和歌一首を書いてみる。	
		3	P8	小倉百人一首の魅力や和歌とかな文字について学ぶ		
			P13	基本の用具と使い方 名前をプリントに書こう		
	5	4	P21	天武天皇の「あきのたの」を1枚書いてみる。		
			P38	かなを美しく表現しよう		
		4	P44	小式部内侍「おほえやま」		
			P52	連綿で書こう		
	6	4	P59	陽成院「つくばねの」		ところどころの連綿をリズムで変化させて書く。
		4	P156～157	変体仮名を練習しよう前半		
7	4	P158～159	変体仮名を練習しよう後半			
		計 24				
二学期	9	4	P76	変体かなを用いよう 柿本人麻呂「あしひきの」	同じ音にたくさんの文字がある変体かなを使い表現豊かに書く。 かな書独特の美しい表現法の「散らし書き」を使い和歌を書く。 散らし書きの表現において、墨色の濃淡や潤滑を織り交ぜて書く。	
		4	P100	散らし書きに挑戦		
	10	4	P124	平兼盛「しのぶれど」		
		4	P124	墨継ぎの工夫で景色を変化させよう		
	11	4		権中納言定家「こぬ人を」		
12	8		書家の様々な作品を書いてみよう			
		計 20				
三学期	1	6		書家の様々な作品を書いてみよう		
		計 6				

子ども学入門Ⅱ (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	平田亮介
教科書	音楽通論 (教育芸術社)
対象生徒	高校 3 年

1. 授業の目標

- (1) 保育に関する職業を目標にする生徒を対象に音楽の基礎知識を身に付ける。
- (2) ピアノの奏法に必要な知識技術を身に付ける。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・ 1 学期では音符の名前など超基礎的な内容から始まり、2 学期になって応用的な内容になっていくので 1 学期の授業内容をしっかりと身に付けておく必要がある。
- ・ 授業内テストが成績に大きく影響するのでしっかりと取り組み、理解を深めるように努力する。

4. 宿題・課題・再試について

- ・ 授業内試験 30 点以下は再試験とする。
- ・ 実技試験はリズム打ち、ピアノ演奏、弾き歌い等を実施する。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第 1 部 第 1 章 音の長さ (音符、休符、付点音符、付点休符、拍子等) 第 2 章 音の高さ (五線、加線、音部記号、音名、派生音等)
	期末	第 3 章 記号 (強弱記号、速度記号、発想標語、反復記号) 童謡の旋律弾き歌い
二学期	中間	第 2 部 第 4 章 音程 (度数、種類、幹音・派生音による 2 音間の音程、転回音程) 第 5 章 音階 (長音階の仕組み、短音階の仕組み、五度圏、関係調)
	期末	第 6 章 和音 (和音記号、三和音、七の和音、転回) 童謡の伴奏弾き歌い
三学期	学年末	第 6 章 和音 (コードネーム) 童謡のコード伴奏弾き歌い

## 化学演習 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	菱山
教科書	改訂 新編 化学基礎(東京書籍)
対象生徒	高校 3 年選択 I

### 1. 授業の目標

化学基礎の知識・技能を習得し、大学共通テストを見据えた演習を行う。また、実験などを通して学習した知識をもとに、目の前の現象から何が起きているかを観察・推察する力や実験結果を検証・考察する力の育成に尽力する。

### 2. 副教材・参考書

エッセンスノート 化学基礎 新課程対応(啓林館)

### 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習, 復習のポイント等

- ・事前に1年次に学習した内容を復習し、苦手な範囲や疑問点など明確にしてから授業に参加することが望ましい。
- ・各単元が終わった際には演習プリントや問題集で該当範囲の復習をする。疑問点があれば速やかに質問し、定期的に学習する習慣をつけること。
- ・試験前には放課後セミナーを実施する場合がある。試験の最終確認に活用すること。

### 4. 宿題・課題・再試について

- ・必要に応じて授業内の小テスト, 調べ学習およびプレゼンテーション, 実験およびレポート, 宿題として課題を課す。取り組み状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験毎に授業ノートや問題集を提出してもらい, 提出状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が 30 点未満の場合は再試を受験または課題を課す。再試の際の合格点は 50 点以上とする。

### 5. 授業計画

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	<u>1編</u> 1章 物質の成分と構成元素 ・純物質と混合物      ・混合物の分離と精製      ・単体と化合物 ・元素の確認      ・物質の三態 2章 原子の構造と元素の周期表 ・原子の構造      ・電子配置      ・元素の周期表
	期末	3章 化学結合 ・イオン結合, 共有結合, 金属結合 <u>2編</u> 1章 物質質量と化学反応式 ・原子量・分子量・式量      ・物質質量 ・化学反応式とその量的関係      ・溶液の濃度
二学期	中間	2章 酸と塩基 ・酸と塩基      ・水素イオン濃度と p H      ・中和反応と塩 ・中和滴定
	期末	3章 酸化還元反応 ・酸化と還元      ・酸化剤と還元剤      ・酸化還元反応の反応式 ・金属の酸化還元反応      ・酸化還元反応の応用
三学期	学年末	<u>総合演習</u>

授業計画は予定であり, 多少前後する可能性がある

生物 (2026 年度)

単位数	4 単位
担当	稲津
教科書	生物 (実教出版)
対象生徒	高校 3 年 選択 E F

1. 授業の目標

自然の事物・現象に対する関心や探求心を高め、目的意識をもって観察・実験などを行い、科学的に探求する能力と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な自然観を育成する。

2. 副教材・参考書

アクセスノート生物 (実教出版)

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

授業後に、その日に学習した内容について、教科書・ノートを見直し、問題集を解くこと。  
また、予習時に該当する生物基礎の知識を復習するように心掛ける。

4. 宿題・課題・再試について

宿題：授業毎に問題集や課題を宿題として出します。長期休暇にはレポートなどの課題を出します。  
再試：定期試験に不合格の場合、再試または課題があります。

5. 評価の基準について

定期試験の得点(80%)，パフォーマンス(20%)により評価をする。

6. その他

授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 生物の進化 1節 生命の起源と細胞の進化 3節 生物の系統と進化 2節 遺伝子の変化と進化のしくみ
	期末	第2章 生命現象と物質 1節 細胞と分子 3節 代謝 2節 生命現象とタンパク質
二学期	中間	第3章 遺伝情報の発現と発生 1節 遺伝情報とその発見 3節 遺伝子を扱う技術 2節 発生と遺伝子発現
	期末	第4章 生物の環境応答 1節 動物の反応 3節 植物の成長と環境応答 2節 動物の行動
三学期	学年末	第5章 生態と環境 1節 個体群と生物群集 2節 生態系

生物演習(2026年度)

単位数	2単位
担当	佐藤
教科書	高校生物基礎 新訂版(実教出版)
対象生徒	高校3年選択H

1. 授業の目標

看護師や栄養士を目指す生徒、大学・短大・専門学校などの一般入試や推薦入試で生物基礎を必要とする生徒を主な対象とする。

高校1年時に一度学習済みの内容だが、一年間の空白期間があるため、基本的な内容の確認から演習に入る。演習形式で入試に対応できる力を養成しつつ、大学での生物の講義を受けるうえで必要となる生物基礎の知識や実験の技能を習得することを目標とする。

2. 副教材・参考書

センサー生物基礎 (啓林館)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に1年次に学習した内容を復習し、苦手な範囲や疑問点など明確にしてから授業に参加すること。
- ・問題を正確に解くだけでなく、短時間で解く練習をすること。
- ・授業中に不正解だった問題は、家庭学習でもう一度解くこと。疑問点は速やかに質問すること。
- ・授業中に行う単元の復習や、問題の解説をノートにまとめること。

4. 宿題・課題・再試について

- ・授業内で、小テストや課題レポートを課す。取り組み状況によりパフォーマンス評価の加点対象となる。
- ・定期試験の結果が30点未満の場合は再試を実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)、パフォーマンス評価(20%)により評価をする。
- ・その合計点を平均点変動制の表を用いて、10段階の評価をする。
- ・パフォーマンス評価点は、小テストやレポートで評価する。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、状況に応じて授業の進度の前後や変更をする場合がある。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	第1章 生物の特徴 1節 生物の多様性と共通性 1. 生物の多様性・共通性 2. 生物の共通性と進化 3. 細胞 2節 生物とエネルギー 1. 代謝とエネルギー 2. 酸素と代謝 3. 光合成 4. 呼吸 5. エネルギーの流れ
	期末	第2章 遺伝子とその働き 1節 遺伝情報とDNA 1. 遺伝子の本体 2. DNAの複製と分配 2節 遺伝情報の分配 1. 遺伝子とタンパク質 2. タンパク質の合成 3. 遺伝子の発現 4. ゲノムと遺伝子

	中間	<p>第3章 ヒトのからだの調節</p> <p>1節 体内環境</p> <p>1. 体内環境と恒常性 2. 体液とその働き 3. 体温の調節</p> <p>2節 体内環境の維持のしくみ</p> <p>1. 情報の伝達 2. 自律神経系による情報伝達</p> <p>3. 内分泌系による調節 4. 内分泌系と自律神経系による調節</p>
二学期	期末	<p>第3章 生物の体内環境とその維持</p> <p>3節 免疫</p> <p>1. 生体防御と免疫 2. 自然免疫のしくみ</p> <p>3. 獲得免疫のしくみ 4. 免疫と疾患</p> <p>第4章 生物の多様性と生態系</p> <p>1節 植生と遷移</p> <p>1. 生態系 2. 植生とその変化 3. 遷移のしくみ</p> <p>2節 気候とバイオーム</p> <p>1. 世界のバイオームとその分布 2. 日本のバイオーム</p>
三学期	学年末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・SDGs ゴール15番目である生物多様性について理解を深める課題 関係する単元 第4章 3節 生態系と物質循環 4節 生態系バランスと保全</li> <li>・第1章から第4章までのまとめ</li> <li>・課題レポート</li> </ul>

数学Ⅲ (2026 年度)

単位数	4 単位
担当	生嶋
教科書	新編数学Ⅲ (数研出版)
対象生徒	高校 3 年 選択 CD

1. 授業の目標

極限, 微分法及び積分法についての理解を深め, 知識の習得と技能の習熟を図り, 事象を数学的に考察し処理する能力を伸ばすとともに, それらを積極的に活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

Study-Up ノート数学Ⅲ (数研出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し, 例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は, Study-Up ノート問題集, 宿題プリントで復習する。疑問点は質問し, 放置しない。
- ・試験前に放課後セミナーを実施する。試験の最終確認に活用すること。

4. 宿題・課題について

- ・Study-Up 問題集, 宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況および小テストの結果をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%), 提出物・小テスト(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり, 授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	1 章 関数 ・分数関数 ・無理関数 ・逆関数と合成関数 2 章 極限 ・数列の極限(数列の極限, 無限等比級数, 無限級数) ・関数の極限(関数の極限, 三角関数と極限, 関数の連続性)
	期末	3 章 微分法 ・導関数(微分係数と導関数) ・いろいろな関数の導関数(いろいろな関数の導関数, 第 n 次導関数, 曲線の方程式と導関数)
二学期	中間	4 章 微分法の応用 ・導関数の応用(接線の方程式, 平均値の定理, 関数の値の変化, 関数のグラフ) ・いろいろな応用(方程式, 不等式への応用, 速度と加速度, 近似式)
	期末	5 章 積分法とその応用 ・不定積分(不定積分とその基本性質, 置換積分法と部分積分法, いろいろな関数の不定積分) ・定積分(定積分とその基本性質, 置換積分法と部分積分法, 定積分のいろいろな問題) ・積分法の応用(面性, 体積, 道のり, 曲線の長さ)
三学期	学年末	3 年間の総復習 ・既習の分野の基本事項の総復習 ・国公立大学, 私立大学の入試過去問題演習※生徒の志望に合わせた大学

数学C (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	生嶋
教科書	新編数学C (数研出版)
対象生徒	高校 3 年 選択 G

1. 授業の目標

ベクトルや複素数平面、2次曲線について理解させ、基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

Study-Up ノート数学C (数研出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に教科書に目を通し、例題を解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、Study-Up ノート、宿題プリントで復習する。疑問点は質問し、放置しない。
- ・試験前に放課後セミナーを実施する。試験の最終確認に活用すること。

4. 宿題・課題について

- ・Study-Up ノート、宿題プリントを毎回の宿題とする。提出状況および小テストの結果をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)、提出物・小テスト(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	第1章 平面ベクトル ・ベクトルとその演算(ベクトル, ベクトルの演算, ベクトルの成分, ベクトルの内積) ・ベクトルと平面図形(位置ベクトル, ベクトルの図形への応用, 図形のベクトルによる表示)
	期末	第2章 空間ベクトル (空間の点, 空間のベクトル, , ベクトルの成分, ベクトルの内積, ベクトルの図形への応用, 座標空間における図形)
二学期	中間	第3章 複素数平面 (複素数平面, 複素数の極形式, ド・モアブルの定理, 複素数と図形)
	期末	第4章 式と曲線 ・2次曲線(放物線, 楕円, 双曲線, 2次曲線の平行移動, 2次曲線と直線) ・媒介変数表示と極座標(曲線の媒介変数表示, 極座標と極方程式, コンピュータの利用)
三学期	学年末	第5章 数学的な表現の工夫 (データの表現方法の工夫, 行列による表現, 離散グラフによる表現, 離散グラフと行列の関連)

数学 I A 演習 (2026 年度)

単位数	2 単位
担当	生嶋
教科書	新編数学 I ・ A (数研出版)
対象生徒	高校 3 年 選択 E

1. 授業の目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

新課程 リンク数学演習 I ・ A + II ・ B ・ C (数研出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に **approach** を自力で解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、**basic ・ challenge** で復習する。疑問点は質問し、放置しない。

4. 宿題・課題について

- ・上記以外に必要なに応じてプリントを配布する場合がある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50% 応用問題 30%)、提出物・小テスト(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容 (教材)
一学期	中間	1. 数と式(式の展開・因数分解, 根号を含む計算, 平方根の整数部分・小数部分, 1 次不等式, 絶対値を含む不等式) 2. 集合と命題(集合, 集合の要素, 命題の真偽, 集合の共通部分・包含関係, 必要条件・十分条件, 命題の逆・対偶・裏)
	期末	3. 2 次関数(2 次関数のグラフの平行移動・対称移動, 2 次関数の最大値・最小値, 最大値・最小値から係数の決定, 2 次関数の決定, 放物線がある範囲で $x$ 軸と接する条件, 放物線と直線の共有点, 2 次方程式と解の存在範囲, 2 次不等式と絶対値を含む 2 次不等式)
二学期	中間	4. 図形と計量(三角比の利用・相互関係, 三角比の式の値, 正弦定理・余弦定理, 三角形の面積, 三角形の外接円・内接円の半径, 円に内接する四角形の面積, 空間図形への応用)
	期末	6. 場合の数と確率(場合の数, 順列, 円順列, 重複順列, 組合せ, 同じものを含む順列, 確率, 反復試行の確率, 条件付き確率, 期待値)
三学期	学年末	7. 図形の性質(三角形の外心・内心・重心, チェバ・メネラウスの定理, 円に内接する四角形, 円と直線, 空間図形と多面体)

数学ⅡB演習(2026年度)

単位数	2単位
担当	生嶋
教科書	新編数学Ⅱ・B(数研出版)
対象生徒	高校3年 選択F

1. 授業の目標

基礎的な知識の習得と技能の習熟を図り、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学的に考察する能力を培い、数学のよさを認識できるようにするとともに、それらを活用する態度を育てる。

2. 副教材・参考書

リンク数学演習Ⅰ・A+Ⅱ・B・C(ベクトル)受験編(数研出版)

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・事前に **approach** を自力で解くなど予習をしてから授業に参加することが望ましい。
- ・授業が終わった内容は、**basic/challenge** で復習する。疑問点は質問し、放置しない。

4. 宿題・課題について

- ・ **approach** を毎回の宿題とする。提出状況をパフォーマンス評価の対象とする。
- ・試験時には試験範囲の **approach/basic/challenge** を提出する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(基本問題 50%応用問題 30%)、提出物・小テスト(20%)により評価をする。

6. その他

- ・授業計画は予定であり、授業が早く進む場合がある。早く終わった場合は既習範囲の復習を行う。

授業計画		
学期	試験	授業内容(教材)
一学期	中間	第9章 式と証明(二項定理, 整式の割り算, 恒等式, 等式の証明, 不等式の証明) 第10章 複素数と方程式(複素数と2次方程式, 解と係数の関係, 剰余の定理・因数定理, 高次方程式)
	期末	第11章 図形と方程式(直線の方程式, 円の方程式, 円と直線, 2つの円, 軌跡, 領域と最大・最小) 第12章 三角関数(三角関数の基本, 加法定理, 三角関数の合成)
二学期	中間	第13章 指数関数と対数関数(指数・対数の計算, 指数・対数の方程式・不等式, 指数・対数関数の最大・最小, 常用対数の利用) 第14章 微分法と積分法(平均変化率と微分係数, 曲線の接線, 極大・極小, 最大・最小, 方程式の実数解の個数, 不等式への応用, 定積分の計算, 定積分で表された関数, 面積)
	期末	第15章 数列(等差数列, 等比数列, 数列の和, 種々の数列, 漸化式, 数学的帰納法) 第16章 統計的な推測(確率変数の変換, 二項分布, 確率密度関数, 標本平均とその分布)
三学期	学年末	まとめの問題 数学ⅡBの総復習

単位数	4単位
担当	壽福 ちなみ
教科書	詳説世界史 (山川出版社)
対象生徒	高校3年 (選択 EF)

1. 授業の目標

- ・世界の動きが、個別の事象としてではなく、すべてに関連があることを理解する。
- ・国際社会に主体的に生きる民主的、平和的な国家・社会の一員として必要な自覚と資質を養う。  
また、人類が直面する課題を、政治・経済・社会・文化などの様々な観点から多角的に考察する。
- ・歴史資料などの読み解きの経験を通して、考える力を養う。また、記述形式の問題にも応用できる力も身に付ける。

[中期目標] 教科書の内容を理解し、史料を見て考察する力を養う。

[長期目標] 講義を通して自らの力で歴史を読み解き、その事象が起こった背景を歴史的な視野と思考で考察できる。

2. 副教材・参考書

- ・新詳 世界史図説(浜島書店)
- ・世界史探究 詳説世界史 スタンダードテスト(山川出版社)

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・積極的な姿勢で授業に臨み、主体的に考えながら学習しましょう。
- ・現在起こっている出来事と世界の歴史を結びつけ、関心と課題意識を高めていきましょう。

4. 宿題・課題・再試について

- ・学習状況に応じた宿題・課題を随時課す。
- ・合格点に到達しない場合、再試を行うこともある。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点(80%)、小テスト・課題(20%)により評価をする。

6. その他 ※授業の進行の中で、必要に応じて一部をピックアップし授業内容を変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	中間	<p>第6章 イスラーム教の伝播と西アジアの動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イスラーム教の諸地域への伝播</li> <li>・西アジアの動向</li> </ul> <p>第9章 大交易・大交流の時代</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容</li> </ul> <p>第11章 近世ヨーロッパ世界の動向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ルネサンス</li> <li>・宗教改革</li> </ul>
	期末	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主権国家体制の成立</li> <li>・オランダ・イギリス・フランスの台頭</li> <li>・北欧・東欧の動向</li> <li>・化学革命と啓蒙思想</li> </ul> <p>第12章 産業革命と環大西洋革命</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業革命</li> <li>・アメリカ合衆国の独立と発展</li> <li>・フランス革命とナポレオンの支配</li> <li>・中南米諸国の独立</li> </ul>
二学期	中間	<p>第13章 イギリスの優位と欧米国民国家の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ウィーン体制とヨーロッパの政治／社会の変動</li> <li>・列強体制の動揺とヨーロッパの再編成</li> <li>・アメリカ合衆国の発展</li> </ul> <p>第15章 帝国主義とアジアの民族運動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2次産業革命と帝国主義</li> <li>・列強の世界分割と列強体制の二分化</li> <li>・アジア諸国の変革と民族運動</li> </ul>
	期末	<p>第16章 第一次世界大戦と世界の変容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦とロシア革命</li> <li>・ヴェルサイユ体制下の欧米諸国</li> <li>・アジア／アフリカ地域の民族運動</li> </ul> <p>第17章 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊</li> <li>・第二次世界大戦</li> <li>・新しい国際秩序の形成</li> </ul>
三学期	学年末	<p>第18章 冷戦と第三世界の台頭</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・冷戦の展開</li> <li>・第三世界の台頭とキューバ危機</li> <li>・冷戦体制の動揺</li> </ul> <p>第19章 冷戦の終結と今日の世界</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業構造の変容</li> <li>・冷戦の終結</li> <li>・今日の世界</li> <li>・現代文明の諸相</li> </ul>

単位数	4 単位
担当	太田 海祿
教科書	詳説日本史 (山川出版社)
対象生徒	高校 3 年 (選択 E F)

1. 授業の目標

- ・「現代の社会・ルール・価値観」のルーツを歴史から辿り、卒業後の「自分の生き方」やキャリアのヒントを探る。
- ・「なぜそうなっているのか？」という逆向きの問いから出発し、主体的に史料を読み解き、過去の歴史的事象と現代の課題を結びつけて論理的に考察する力を身につける。

2. 副教材・参考書

- ・詳説日本史図録 (山川出版社)、公的機関の史料アーカイブ等

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・本授業は、自分のペースで学習を進める「自由進度学習」を取り入れています。毎回の授業の冒頭で提示される現代のニュースや身近な疑問 (ジェンダー、労働問題、メディアのあり方など) からスタートし、歴史を遡って探究します。
- ・探究活動に進むためには、基礎知識チェックテストの合格が必須となります。教科書や図説を用いた、日々の基礎用語と歴史の大きな流れのインプット (予習・復習) を欠かさないようにしてください。
- ・iPad での作業時は、目や姿勢への負担を減らすため画面分割は使わず、フルスクリーンでアプリをスワイプで切り替えながら使用してください。複雑な歴史の流れや文化史のビジュアルは、机上に開いた紙の図説で確認する習慣をつけましょう。

4. 宿題・課題・再試について

- ・单元ごとの基礎知識チェックは、合格基準に達するまで再受験が必要です。
- ・ワークシートにまとめた探究ミッションの成果 (史料への書き込みと、歴史と現代を結びつけた考察) が、主要な提出課題となります。
- ・定期試験で 30 点未満の場合、再試を実施する。

5. 評価の基準について

- ・定期試験の得点 (50%~80%)、パフォーマンス評価 (レポートや探究活動での表現等) (20%~50%) により評価をする。
- ・観点別評価をつける。 (「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」)

6. その他

- ・授業計画については時事問題の導入具合により進度や内容に多少の変更がある可能性がある。
- ・中間テストは行わないが、小テスト等 (Forms 等) を実施し、重要な評価基準として用いる。

学期		学習内容 (教材)
1 学期	中間試験・期末試験	江戸時代～明治時代 第Ⅲ部 近世 第 9 章 幕藩体制の成立と展開 第 10 章 幕藩体制の動揺  第Ⅳ部 近代・現代 第 11 章 近世から近代へ 第 12 章 近代国家の成立
2 学期	中間試験・期末試験	明治時代～昭和時代 第 13 章 近代国家の展開 第 14 章 近代産業と生活 第 15 章 恐慌と第二次世界大戦 第 16 章 占領下の日本 第 17 章 高度成長の時代
3 学期	学年末試験	第 18 章 激動する世界と日本 総まとめ・現代社会と私のキャリア

ビジュアル・ヒストリー(2026年度)

単位数	2単位
担当	上戸 涼平, 山本 愛, 栗山 美緒
教科書	なし
対象生徒	高校3年 ※選択C

1. 授業の目標

これまでの歴史の授業とは異なる手法、角度、資料を用いて、社会を考察できるようにする。

自分の持っている知識と、新しく得たものを繋げられるようにする。

授業担当者がいくつかのテーマを設定し、世界史と日本史、時代や国の枠を越えて、現代で生きるということをして一人一人が自分事に落とし込めるようにする。

〔中期目標〕 映像・資料等の内容を理解したうえで、自分の意見をまとめることが出来るようにする。

〔長期目標〕 現代社会で起きていることや世界情勢の諸問題を歴史的視野で考察できるようにする。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

教科書の中のはるか昔の出来事だけが歴史なのではなく、今現在の私たちの生活もその一部なのです。

歴史を通して何が学べるのか。また、それを通じ私たちは何をすべきなのか。沢山のことを考えられる授業にしていきたいと思います。皆さんの積極的な姿勢を期待しています。

4. 宿題・課題・再試について

・学習状況に応じた宿題を随時課す。

5. 評価の基準について

・各回の授業担当者による課題や発表などによって評価する。

6. その他

授業計画	
学期	授業内容(教材)
一学期 ～ 三学期	ドキュメンタリーから考える歴史 事実をありのままに表した作品(映像、画像、資料など)を通し、歴史とは何かを考える。作品ごとのワークを通じ、作品の見方や捉え方を学ぶ。同時に、現代社会への眼差しを養う。
	映画のワンシーンから観る歴史的な背景 何気なく描かれているワンシーンに含まれる、「分かる人には分かる」という要素に着目をして、学問的にその歴史的な背景を探る。
	世界の作品から考える歴史 さまざまな時代の世界に関する作品(映像、画像、資料など)を通し、広い視野で歴史を捉える。 作品ごとのワークを通じ、主体的に歴史を考える姿勢を養い、現代社会への考察を深める。

時事問題探究 (2026年度)

単位数	2単位
担当	壽福ちなみ
教科書	なし
対象生徒	高校3年(選択I)

1. 授業の目標

新聞やニュース番組を通して、日本や世界の政治・外交・経済・環境・産業などについての知識と教養を養い、興味関心を高めることにより、現代社会の諸問題に関する考察力を身に着ける。

〔中期目標〕 報道内容を多角的な視点から分析し、事象の背景にある歴史的・社会的な要因を整理して、論点を的確に抽出する力を養う。

〔長期目標〕 現代世界の諸問題に対して、資料を集め、資料を通して自分の意見を論理的にまとめ、発表する力を養う。

2. 副教材・参考書

なし

3. 学習を受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ・授業で扱うニュースについて事前に連絡するので、ニュースや新聞記事などに注意を原、テキストの関連箇所を読みこむ。
- ・現代世界の諸問題に関する探究授業では、グループワークや発表を行うので、自分の意見をきちんと発表できるようにしておくこと。

4. 宿題・課題・再試について

- ・学習状況に応じた宿題・課題を随時課す。
- ・予習、復習課題や映像を見ての感想、生徒の発表の感想などを、ロイロノートに提出する。
- ・ニュース時事能力検定や公共に準じた小テストも実施する。
- ・試験の代わりにレポートを課すこともあるので、期限までにきちんと提出する。

5. 評価の基準について

- ・各回の課題や発表などによって評価する。
- ・定期試験は行わない。(授業内の小テストはあり)

6. その他 ※世界情勢によって、必要に応じて一部をピックアップし授業内容を変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容(教材)
一学期 ～ 三学期	新聞記事やニュースを教材として講義する。 宜必要な記事とワークプリントを配布するので、ロイロノートに意見をまとめて提出したり、ワークプリントを仕上げて提出する。
	新聞記事をもとにして、新聞を作製する。 新聞記事を集め、記事をもとにした内容を新聞仕立てにして発表する。 (5人程度のグループに分かれてお互いに発表する)

生活デザイン入門(2026年度)

単位数	2単位
担当	関野、川里
教科書	2026 生活学 Navi (実教出版) 家庭総合 (実教出版)
対象生徒	高校3年 選択ⅢE、ⅢH

1. 授業の目標

実習を通して持続可能な社会を目指す。

実習を通して、材料の選択、基礎的なミシン縫い・手縫いなどの縫製技術を身につけ、日常使用するものを自由に作成する。

生活を豊かにするための知識や技術を習得する。

SDGsの目標

衣服の製作を学ぶだけでなく、服の大量生産・大量廃棄や環境問題などを考える。「つくる責任 つかう責任」を実践的に学ぶ。

2. 副教材・参考書

副教材：「2026 生活学 Navi 資料+成分表」実教出版

実習：「フランス刺しゅう 基礎編」「ジュートトートバッグ」

「フリースでつくるプルオーバー&ジャケット」

3. 学習する上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

1 学期：「生活を振り返り課題を発見し、解決方法を考える」課題の提出

「フランス刺しゅう 基礎編」の提出

2 学期：「ジュートトートバッグ」「制作の記録（感想と自己評価）」の提出

3 学期：「フリースでつくるプルオーバー&ジャケット」の提出

「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」の提出

4. 宿題・課題・再試について

1 学期：「生活を振り返り課題を発見し、解決方法を考える」課題

「フランス刺しゅう 基礎編」作品

2 学期：「ジュートトートバッグ」作品、「制作の記録（感想と自己評価）」

3 学期：「フリースでつくるプルオーバー&ジャケット」作品

「実習の記録（感想と自己評価、フリースについて）」

5. 評価の基準について

・下記により評価する。

1 学期：課題 40%、作品 60%

2 学期：製作の記録 30%、作品 70%

3 学期：実習の記録 20%、作品 80%

6. その他

授業計画は、授業進捗状況により変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	なし	生活学 Navi・家庭総合 持続可能な社会について考察する。 「もったいない」と3つのRについて考える。 マイバッグと環境問題について考える。 「死蔵被服」について考える。 持続可能な社会に向けて、何ができるかを考える。 刺しゅう 刺しゅうの基礎（ステッチ6種類）を習得し、2学期に製作するトートバッグで活用できるようにする。
二学期	なし	ジュートトートバッグ ミシン、備品の扱い方を習得する。 バングラデシュの特産品ジュートを用いて、トートバッグを製作する。 アレンジを施したバッグを自由に製作することができる。

		作品の自己評価・感想をまとめる。
三学期	なし	プルオーバー&ジャケット 型紙を用いて被服製作に取り組む。 フリース素材の縫製技術を身につける。 衣服の構成について理解する。 作品の自己評価・感想をまとめる。 フリースの特徴について調べる。

単位数	1 単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校 3 年

## 1. 授業の目標

高校 1 年および 2 年生で培った思考力・判断力・表現力を活かし、様々なプロジェクトを通じて将来に必要な力を身につける。「さまざまな人々と協働して学ぶ態度」などの、新しい大学入試や社会で必要な力を、自然に身につけていく。

## 2. 副教材・参考書

なし

## 3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①グループワーク（協働型学習）が中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。
- ②自分の考えをまとめて発表する活動では、聞き手側に伝わるよう留意する。
- ③提出物は完成した状態で、期限内に必ず提出する。

## 4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

## 5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は 5 段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」としてライフデザインと統合し、A・B・C の 3 段階の評価をつける。

## 6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画	
学期	授業内容（教材）
一学期	Deep Dive Project I（自己 PR／プレゼン）
二学期	Clash & Create（ディベート） Idea to Impact（企業）
三学期	Idea to Impact（企業）

高3 ライフデザイン (2026 年度)

単位数	1 単位
担当	学年教員全員
教科書	なし
対象生徒	高校 3 年

1. 授業の目標

人生のターニングポイントで、自分の満足し得る選択肢を見出すことが出来る力＝「人生を切り拓く力」を身に付ける。5つの分野（コミュニケーションスキル・キャリアプラン・マネープラン・ウィメンズライフ・ジェンダー）の活動を行う。

2. 副教材・参考書

第一学習社『志望理由書・自己PR文完成ノート』

3. 学習受ける上での留意点・アドバイス・予習、復習のポイント等

- ①グループワーク（協働型学習）が、中心になるため、他の人の話をよく聞き、協力する姿勢を大切にする。
- ②自分の考えをまとめて発表する活動では、人に伝わるように留意する。
- ③提出物は完成した状態で、期限を守って必ず提出する。

4. 宿題・課題・再試について

各活動で課題が必ず出される。

5. 評価の基準について

発表及び提出課題で評価をつける。各学期は5段階で評価し、学年末には「総合的な探究の時間」として Komajo Quest と総合して A・B・C の3段階の評価をつける。

6. その他

授業計画は予定であり、変更することがある。

授業計画		
学期	試験	授業内容（教材）
一学期	期末	キャリアプラン ジェンダー 志望理由書を書こう ジェンダーを考える ・選択的夫婦別姓 ・男性の育児休暇 ・ジェンダーサイエンス 映像の世紀鑑賞
二学期	期末	マネープラン キャリアプラン お金の力 株の力 私の将来
三学期	学年末	キャリアプラン 生き方を考える講演会 私の将来